

日本公認会計士協会が「監査基準委員会報告書800『特別目的の財務報告の枠組みに準拠して作成された財務諸表の監査』及び監査基準委員会報告書805『個別の財務表又は財務諸表項目に対する監査』並びに関連する監査基準委員会報告書の改正に関する公開草案」を公表

『会計情報』編集部

日本公認会計士協会（監査基準委員会）は、平成25年11月19日に企業会計審議会から公表された「監査基準の改訂について（公開草案）」を踏まえ、監査基準委員会報告書800「特別目的の財務報告の枠組みに準拠して作成された財務諸表の監査」及び監査基準委員会報告書805「個別の財務表又は財務諸表項目に対する監査」の検討を行い、また、これらの監査基準委員会報告書が公表されることにより他の監査基準委員会報告書に及ぼす影響について検討してきたが、今般、これらの検討を終えたため、平成25年12月13日付けで草案を公表した。

なお、今後も、これらの監査基準委員会報告書に基づく監査実務を円滑に実施できるように、財務報告の枠組みの区分や受入可能性等の考え方に関するQ&Aなど、追加的なガイダンスの提供を行っていく予定であるとしている。

詳細については、日本公認会計士協会のウェブページ（http://www.hp.jicpa.or.jp/specialized_field/800805.html）を参照いただきたい。

以上